

（魅力動画）

（行事案内）

（入会申込み）

（おきなわ）

（kooonawa）

同友会って
どういう会？

おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい

2024年（令和6年）
10月号
No. 439

発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小嶽1831番地1 沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



地域に根ざして70年、愛されてこれからも

宮平観光(株) 総務部部長 宮平^{あきら}輝氏（八重山支部）



地域に根ざして七十
年。石垣島の地元民には
親しみ感のあるあのホテ

ル、サービス、グループ
会社。そんな地元の老舗
は、誰も彼にも元気を分
けてくれる存在です。し
かしもしあなたが島外か
らの移住者で、島で誰か
と恋に落ち、その大事な
お相手が地元老舗ホテル
のお嬢様であったなら
。結婚を機に入社する
こと十一年、現在は総務
部部長を務める宮平観光
(株)の宮平輝さんに、これ
までのいきさつを根掘り

「元々は関東でダイビ
ングショップに勤めて
いました。東京、神奈
川、伊豆を中心に、三年
間で千本以上は潜ったの
ではないでしょうか？転
職を機に以前より興味の
あった石垣島に移住、知
り合った地元のおぼあ

「入社後すぐグループ
会社を回る機会を与えら
れました。レンタカー部
門では業務のかたわら大
型自動車第二種免許を取
得、食品を扱う会社では
食品の配送・自販機ドリ
ンク補充など。その後リ
ネンサプライ会社で自社
以外のホテルへのリネン
（シーツ・タオルなど）
の配送やクリーニング業
務などの実務を経験しま
した」。その後葬儀社、
レストラン、居酒屋、設
備メンテナンスと関係各
署を渡り歩き、メインで
あるホテルに戻ります。
ホテルでの業務も一言で
くくれるものではなく、
フロント、ツアー案内、
ベッドメイク、料飲業務
と幅広いものでした。現
在、保険業務をメインに
携わる宮平さんは、次の
ステップとして宅地建物
取引士を勉強中とのこ
と。どこまで手広く覚え
るつもりですか？の問い
には、グループ全体を通
してこれだけ経験をさせ
てもらったのは、自分し

紹介で、妻と出会いまし
た。三姉妹の次女である
妻と知り合った当時は長
女・三女とも嫁いだ後で、
自然と自分が婿入りする
形に。婿に入ることに特
に抵抗はありませんでし
た。得てして良いこと
はテンポよく進むもの
で、十一月に奥様と出会
い、翌年七月に入籍、九
月に挙式、十月には宮平
観光(株)に入社します。

グループ会社の業務を 経験することで掌握

障がいのある方が地域で働き、
地域で暮らすために

雇用・就労支援フォーラム
・さきしま経営フォーラム

日時：10月26日（土）13:00～19:00
会場：宮古島市役所（一部Zoomあり）

基調講演（13:35～14:45）
「みんながキラキラと輝ける職場づくり
～就労と自立を目指して～」
講師 中村こずえ氏
（有）エス・ケイ・フーズ 相談役

分科会（15:00～17:50）
第1分科会（雇用している企業の報告）
第2分科会（若年性認知症）
第3分科会（連携づくり）
第4分科会（合理的配慮）

全体会
（18:10～19:00）

※QRコードからも
申し込み可能です。

《会社概要》
宮平観光(株)
総務部部長 宮平 輝氏
（八重山支部）

所在地/石垣市美崎町4-9
TEL/0980-82-6111
FAX/0980-83-6796
事業内容/ホテル業
URL/http://www.miyahira.co.jp

宮平観光を中心とす
る美ら花グループが去
年、創業七十周年を迎え

「地元の皆さんから
愛されていると実感



七十周年を迎えたホテルミヤヒラ
石垣の青空に赤瓦屋根と白が基調の
建物が映える

「地元が協力してくれ
そして愛されている」と
感じる宮平さんが語るホ
テルの醍醐味は、やはり
お客様から「良かった
よ！また来るね」と言わ
れること。奥様との間に
出来たかわいい娘の成長
とともに、宮平さんの活
躍の場はこれからも広
がっていくばかりです。
（有）PLANT PLAN・宮
良高彰）

江戸時代の儒学
者・佐藤一斎の著
書「言志四録」に
「少（わか）くし
て学べば壯にして
成すあり。壯にして学べ
ば老いて衰えず、老いて
死んだ後にもすたれるこ
とがないという意味だ▼
▼学業を終え、社会に出た
後にも学ぶ意欲を持ち続け
る方は少ないであろう。
▼必要性を感じても投資の
時間がない事も理由の一
つだ▼▼本当に必要なかわ
らないタスク管理に追わ
れ時間を消費し続ける。
「時間は作るものだ」と
言われても現実にはなかなか
か思うようには行かない
▼今年も開校する「同友
会大学」は第二十九期を
数える。九月～十一月ま
での三カ月、著名な講師
陣から学ぶ多種多様の講
義は毎年多くの学びを得
ている▼▼「社会人になっ
てからも学ぶ必要が？し
かも仕事とは関係のない
事を」の思いが見える受
講生もいるが、卒業時に
は「いままで知らなかつ
た沖縄を知ることが出来
た」「基地問題の本質が
理解できた」などの論文
が寄せられる。それは実
際に体験した者で無いと
わからない▼▼人の動機づ
けには強制力が必要だ。
「学び」の意欲があれば
時間管理も可能になる
だろう。一度同友会大学
の扉を叩いては如何だろ
う。（稲穂）

南部支部8月支部例会
社員を信じ寄り添う姿勢が大事



報告する石井氏

南部支部8月支部例会が、八月七日に南風原中央公民館にて二十八名の参加で開催。（社）SHINSEI代表理事の石井紀子氏に報告いただきました。

石井氏は（株）アイセック・ジャパンでスタッフとして三年従事した後、誰かのために働くことを信念に就労継続支援事業所に入社、そこで先代の儀間真一郎氏と出会い共に活動を始めます。二〇一七年就労サポートSHINSEIを開所



南部支部例会の様子

し、会社は順調に成長していきませんがパワフルな性格で引つ張ってきた儀間氏が急逝します。要石を失った石井氏は自らが先頭に立ちますが社員との関係で悩みます。そこで、社長・社員共育塾を幹部社員と共に受講してから変化が生じ、共感した幹部社員は現在右腕・左腕となり会社のために先陣を切つて

働いていることに、社員を信じ常に寄り添う姿勢が大事であることを感じました。しかし、社長と社員では見えない溝があることも再確認し、同じ

3支部合同例会（中部・浦西・南部）
新支部設立に向け学んで交流



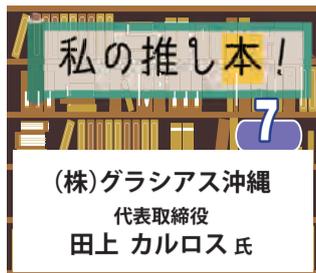
報告する徳田氏

中部・浦西・南部支部による新支部設立に向けた合同例会を八月二十三日、西原町中央公民館にて三十七名の参加で行いました。「同友会のトリセツ〜俺はこうやって成長した〜」のテーマでシンプロメンテ（株）沖縄営業所長の徳田恭紀氏が報告しました。



グループ討論で笑顔がこぼれる

境遇に在るからこそ寄り添うことができる同友会の例会は経営者にとって必然の学びがあることを実感しました。（有たけ事務 竹富久



この本のタイトルは衝撃的で、どの企業の従業員にも興味を引く

タイトルであるからこそ企業のトップは無視できません。安倍政権下で書かれたこの本は、中小企業が現在直面する人材不足問題を予見していたかのようです。サブタイトルには「人事評価制度のない会社は、すべてブラック企業と判断される時代がやってくる」ともあります。小規模事業者や中小企業は働き方改革や適切な人事評価制度の導入は遅れ気味であるため、それを攻

撃しているかを感じます。確かに、このような内容を実現すると社員の定着率向上に直接つながります。一方、生産性向上、最低賃金の引き上げ、離職防止などは経営者を悩ます課題でもあります。この本に書かれている内容は企業の規模に関係なく、時代に合った労働環境を整備する大切さについてですが、同友会で学ぶ理念経営と一〇年ビジョンとを補強すること、自社の将来を強化することに感じました。

那覇支部南・北地区合同例会
自己変革をもたらしたコロナ禍明けの危機



今井氏

「だからこの一年でネガティブ思考を変えました。そうすることで、状況が変わっていったんです」。八月二十二日、沖縄ホテルで開催された那覇支部南・北地区合同例会で登壇したのはいまいパン

まだ同友会に入会して一年半とはとても思えない内容で、徳田さんご自身の事も含めとても赤裸々な報告内容でした。グループ討論において各グループが楽しく活発な議論を交わし、「討論の時間を延長出来ないか？」などが飛び出すほどでした。最近代表になったばかりで不安を抱えていたゲストさんも徳田さんの報告を聞いて「すごく勉強になりました」などの感想もあり、例会として充

（同）の今井陽介代表。「コロナ禍から現在、同友会での学びから実践へ」のテーマで話されたのは、コロナ禍明けのいまいパンを襲った危機でした。発端は、原材料の高騰。毎月の大赤字に「経営者失格なのでは」という思いに追い詰められると同時に、スタッフにも心身の不調が表れたのです。「僕はめっちゃくちゃネガティブ思考でした。こ

の厳しい状況の中、僕のネガティブな言葉がスタッフの害になっていったと気づき、もう言わないと決意しました。人を応援するような言葉を使うなど意識する中で、スタッフの病も治っていったと語ります。今は「沢山の人の幸せに貢献する、沖縄になくはないパン屋になる！」と強い思いを語る今井代表の瞳は、未来を見つめ幸せにあふれているように見えたのでした。（株）ハルモニアグラナデ 小橋川 牧

那覇支部経営講座第3講～5講を開催
クロスSWOTや決算書 後期も準備中

那覇支部経営委員会では、よい経営者を目指す経営基礎講座（前期）三講五講を開催しました。八月五日の第三講「事例を踏まえたクロスSWOT分析の実践」では、三重金属工業（株）課長の上地裕介氏が講師を務めました。SWOT分析の基本と、深い分析ができる



上地氏

「クロスSWOT分析」を学び、事例を交えながら進行。また、REESAやマンダラートとの組み合わせによる具体的な分析手法も取り入れられました。参加者からは、「SWOT分析は何度も参加しているが毎回新たな学びがある」「REESAのエビデンス分析が面白かった」「マンダラート法がアイデア出しに役立った」「自社の課題について深く考える良い機会となった」との声が寄せられました。「沖縄一簡単な決算書勉強会」と題した八月十三日の第四講と八月二十日の第五講では（同）グラッド代表大城章氏が登壇。後期も、様々なテーマを準備しています。引き続きご期待ください。（株）プレイバック・シアター 研究所 河野信之



大城氏

えや具体的な説明が好評でした。「難しかった点がクリアになった」、「数字について理解が進むと会社の全体像がわかる」「タイトル通り沖縄一わかりやすかった」との感想が多く寄せられ講座の理解度の高さを感ぜました。アンケート結果からも、総じて満足度が非常に高く社員、ゲストの参加もあり、経営基礎講座が活用されていることを感じています。

きらりと光る会社発見フェア
合同企業説明会とお仕事体験

八月十日連休の初日、土曜日に、イーアス沖縄豊崎「イーアスホール」にて、きらりと光る会社発見フェアを開催しました。今回、商業施設での初めての開催となり、いつもの合同企業説明会だけではなく、お仕事体験という形でも行いました。



企業説明会 in 南部

小さい時からこのような経験をすれば、こんな仕事があるんだ、沖縄には頑張っている大人がたくさんいるんだと認識し、いざ就職を考えた時に、その子の可能性が広がればいいなと思いつき、今回の企画となりました。子供たちから「とても楽しかった！」「次回への期待が膨らむイベントになりました。」（事務局）



二〇二四年四月に設立された(株)RedPro代表取締役の上原玲子さんは、(一社)琉球フィルハーモニックの専務理事としても活躍し、その経験を活かしてRedProを立ち上げました。会社名「RedPro」は、上原さんの名前「玲子」の頭文字「R」と、事業理念である「educational(役立つ)」や「Progress(同じ方向へ進歩する)」を組み合わせたものです。



上原 玲子氏

地よく楽しむための工夫

「まずは足を運んで体験してほしい」

「人をつなぐ」や案内方法、スタッフ育成など、従来のコンサートでは気づけなかった多くの学びがありました。活動の中で、上原さんが「障害者の『が』」をどの字にすべきかと当事者に尋ねたところ「障害者」です。社会と関わる時に障害を受けているからです」と言われ、深く考えさせられたと同時に、表面的に当事者へ配慮をしているようで、実は当事者たちを透明化していたのではと、はっとしたそうです。

この経験をもとに、障害を持つ人々が自由に音楽を楽しめる場を作り、

「まずは足を運んで体験してほしい」

「まずは足を運んで体験してほしい」

RedProの事業の本質は「人と人を繋ぐこと」にあります。会社設立の背景には、琉球フィルハーモニックが文化庁の委託を受けて開催している「美らサウンドコンサート」があり、このコンサートは障害者を聴衆対象としており、音楽を心

や案内方法、スタッフ育成など、従来のコンサートでは気づけなかった多くの学びがありました。活動の中で、上原さんが「障害者の『が』」をどの字にすべきかと当事者に尋ねたところ「障害者」です。社会と関わる時に障害を受けているからです」と言われ、深く考えさせられたと同時に、表面的に当事者へ配慮をしているようで、実は当事者たちを透明化していたのではと、はっとしたそうです。

十一月三日、那覇文化芸術劇場なはと小劇場にて「美らサウンドコンサート」が予定されています。上原さんは「目に見えにくい事業だからこそ、まずは実際に足を運んで体験してほしい」と、多くの方々の参加を呼びかけています。



ゆいまー事業プレゼン発表の様子

この事業プレゼン会は五委員会から選出された会員企業の事業内容・課題・これからやりたいこと

若手経営者部会「ゆいまー」少人数イベント 初心者のための経営指針入門編

うりずんでは、学びの機会を増やしていくことを目的として、月二回を目安に「少人数参加イベント」を開催しています。八月九日には、同友会事務所Zoomを活用し、「初心者のための経営指針書作成入門学習会」を行いました。講師

は、経営指針作成講座でもサポーターを務める三重金属工業(株)の土地裕介氏。土地氏は、「経営指針書の作成は、現在地から理想の目的地へ辿り着くための架け橋。ブレない柱(経営指針書)を作成し、作成した地点から

がスタート。①橋を強く大きくしていくこと(自社での実践の繰り返し)、②橋のメンテナンス(企業変革支援プログラムの活用)が大事」と語り、自身が作成した指針書も実例として紹介。

参加者は、同講座受講済みの方、未受講の方、ゲスト参加の方、と立場はそれぞれでしたが、どの立場の方にとっても深



経営指針入門編参加メンバーで

初めでの試みで課題もありましたが、会員企業による交流は盛り上がりを見せ、盛況のうちに終わったことから、次回にも期待が持てるプレゼン会となりました。(ゆりサイクルセンター 沖縄 玉城栄)

毎月二回の少人数イベント事業として、八月二十二日に「福祉・介護事業者による情報交換会」を開催しました!

「福祉・介護事業者による情報交換会」を開催しました!

「福祉・介護事業者による情報交換会」を開催しました!



福祉・介護事業者で意見交換

《会社概要》 (株)RedPro 代表取締役 上原 玲子氏 (那覇支部・碧の会) 所在地/那覇市田原1-12-6 1R TEL/070-3802-9771 FAX/098-857-5695 事業内容/琉球フィルハーモニックオーケストラ運営、児童デイセンター、こどもの城ミュージック、那覇ジュニアオーケストラ運営 URL/http://ryukyuphil.org/

「うりずん」同世代で語り合う会 とき:10月24日(木) 19:30~21:00 ところ:沖縄産業支援センター

法人化 Q&A 第7次ビジョンで掲げ、2023年度の活動方針にもある「法人化の再検討」について、2024年度は、法人化検討会議を開催し、法人化取得に向けて準備をすすめています。これまでの議論を整理し、予想される疑問にお答えするために、「Q&A」を作成し会員の皆様への理解を広げるツールとします。この資料はすでに法人化している各地同友会の運用を確認し、参考のうえ作成しました。

第34回 経営研究フォーラム

人を生かす経営の総合実践
～成長し続ける組織づくりのヒントをつかもう！～

日時 11月1日(金) 14:00～19:30
会場 沖縄産業支援センター



内容

第Ⅰ部「基調講演」(14:00～15:15)

テーマ：なにが儲かるかでなく、
なにが楽しいかで決める！
～ボンボン後継者がゼロから仕事をつくる楽しさに目覚める～



講師：(株)ソアール 社長 中島賢太氏(神奈川同友会・青年部)

第Ⅱ部「分科会」(15:30～18:15)

■第1分科会(経営指針)

テーマ：社員の幸せを考えてますか？
～一人親方から組織的な経営へ～

問題提起：(株)琉球補聴器 社長 森山賢氏
報告者：(有)フィーチャー企画 社長 伊波亜矢子氏

■第2分科会(DX)

テーマ：根本原因を解き明かす！デジタル化(DX)を見据えた企業課題
～「なぜこの事象が起きたのか」、デジタル化以外にも
使える課題の真因に迫る深堀り方とは！?～

報告者：(有)大宮工機 社長 宮城光秀氏
報告者：I T通信(株) 社長 高橋庸正氏
ファシリテーター：(株)okicom 取締役 波平恵太氏

■第3分科会(社員教育)

テーマ：中間管理職が考えるよい会社とは？～部下と社長の板挟みの中で～
報告者：(有)スタプランニング 執行役員部長 又吉里美氏

■第4分科会(付加価値・地域づくり)

テーマ：消えゆくもぎず産業!! 沖縄うるま船団丸の挑戦
報告者：(株)GHIBLI 社長 坪内知佳氏
報告者：沖縄うるま船団丸 船団長 東卓弥氏

■第5分科会(SDGs)

テーマ：SDGs×人材育成
報告者：合同会社 Happy Joy 代表社員 幸喜穂乃氏

■第6分科会(見学、定員20名)

テーマ：マチグワの未来をデザインしよう
パネリスト：第一牧志公設市場 組合長 栗国智光氏
パネリスト：那覇市観光協会 事務局次長 玉村剛氏
コーディネーター：尚学院公務員法律大学 広報室長 清水敦志氏

第Ⅲ部「懇親会」(18:30～19:30)

懇親会参加費：2,000円



経営指針作成講座修了式

第58期経営指針作成講座 報告会&修了式を開催

第五十八期経営指針作成講座の報告会と修了式が八月二十九日に沖縄産業支援センターでひらかれました。六月三日の事前学習会から八月十日の第六講まで開催し、七社十名が受講。報告会では「経営理念」「十年ビジョン」「経営方針」の三つを発表。受講を通しての気づき、時間を確保して経営に向き合うことの大切さなども語られました。今後はいかに会社で

八月八日、宮古支部では初の試みとなる「仲間づくりお誘いランチ会」を、ヒルトン沖縄宮古リゾートのレストランにて開催しました。当日は二名のゲストをお招きし、沖縄本島からは宮古支部担当の一瀬宗也副代表もこのために駆けつけ、同友会の魅力をお伝えしました。

ランチ会では、砂川幸男支部長や福原恵津子支部長が、宮古支部の活動を支部独自で発行している広報誌を用いてわかりやすく紹介。ゲストからは活動内容の詳細について質問が出るなど、終始和やかな雰囲気では進みました。

通常の会社訪問とは異なるリラックスした雰囲気の中で、同友会についてお話しできたことは新鮮な経験となりました。今後は、このランチ会を支部役員だけでなく、会員同士の交流の場としても活用できるような工夫し、さらに多くの仲間を迎える場にしていきたいと思えます。(先嶋産業(株) 友利博明)



8名の新会員が参加しました

宮古支部初の試み お誘いランチ会 リラックスした雰囲気で開催

八月十三日に新会員歓迎オリエンテーションを沖縄産業支援センターにて開催しました。

8月新会員 オリエンテーション開催

- ① 浦西支部 (社)世界若者ウチナンチ連合会 比嘉千穂 代表理事
- ② 浦西支部 (有)室内装飾みやぎ 宮城敦 代表取締役
- ③ 浦西支部 (株)クオサ 國仲徳一(代理・國仲貴大) 社長
- ④ 那覇支部 (株)華風 上杉京子 社長
- ⑤ 中部支部 (株)ワイズリゾート沖縄 仲松祥吾(代理・宮城正樹) 代表取締役
- ⑥ 那覇支部 (株)レキサス 山城常秀 取締役
- ⑦ 浦西支部 美ら海ハウジング 崎原雅史 代表取締役
- ⑧ 浦西支部 (株)AIM 石原亨 代表取締役
- ⑨ 赤嶺宏副代表理事

事業者向けバンキングサービス 「ビズパン」のご案内

沖縄銀行では、事業者の皆さまの多様なニーズに応える新たな事業者向けバンキングサービス「ビズパン」の提供を4月から開始しております。「ビズパン」は、銀行窓口で行っていた残高照会や振込手続きを、PCからスマートフォンまでマルチデバイスで確認・対応できる事業者向けバンキングサービスです。各種残高照会については、ご預金だけでなくお借入れ(融資)にも対応しており、振込手続きをいつでも、どこでも、お好きなデバイスから行うことができます。沖縄銀行に口座をお持ちの事業者さまであれば、申込からご利用まで窓口来店不要!お手続きはすべてWEBで完結し、スピーディーにご利用いただけます。ぜひこの機会に事業者向けバンキングサービス「ビズパン」をご利用ください。詳細につきましては、下記QRコードから、またはお取引店舗までお気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ：沖縄銀行各支店



コースNo. 138

期待する人材を定着させる「しかけ」と「しくみ」

人材採用と定着の考え方・進め方

NEW

【沖縄教室】

研修のねらい

自社の内外環境変化、採用における自社の求人分析、強み分析を実施した上で、自社が採用のためにやっていくこと、変えていくことを検討します。また自社の求める人材像を明確にした上で人材の定着及び教育プランを検討します。(採用の「しかけ」について考え、定着・教育を促進する「しくみ」について、計画づくりを行います。)



中小企業大学校 人吉校
Be a Great Small. 中小機構
TEL: 0966-23-6800 (平日 9:00～17:30)
FAX: 0966-22-1456

お気軽にお問い合わせください。

人吉校

検索



研修期間

2024年 【2日間】
11/27(水)～11/28(木)

講師紹介



有限会社ヒサエダコンサルティング 代表取締役

久枝 良彰
(ひさえだ よしあき)

監査法人トーマツのマネジメントコンサルティング部、およびデロイトトーマツコンサルティング株式会社で、組織・人事コンサルティングのプロジェクトマネージャーとして在籍。2005年に有限会社ヒサエダコンサルティングを設立。これまで300社以上の企業・公的機関・医療機関に対して、組織・人事戦略や人事制度、教育研修制度、業務改善等のコンサルティング及び運用支援を実施している。またマネジメント研修、人事評価者研修、目標管理研修、タイムマネジメント研修、ロジカルシンキング研修、プレゼンテーション研修など、年間80回ほどの講師を務めており、研修では、理論提供、事例研究、自己分析、相互共有、発表等のバランスを通して、受講者が考えながら学ぶ参加型プログラムに定評がある。九州大学経済学府修士(MBA)にて「組織マネジメント論」を研究・修了。

会場

沖縄産業支援センター
沖縄県那覇市字小禄1831番地1

対象者

経営幹部/管理者

定員 20名

受講料 22,000円(税込)